

第18回市議會臨時會
文 教 社 會 委 員 會

’93主要業務報告

保健環境研究院

目 次

一 般 現 況 ----- 1

'93主要業務 推進計劃--- 4

隘路 및 建議 事項 ----- 14

一 般 現 況

◇ 沿 革

◇ 位 置

◇ 機 構 與 定 員

◇ '93 歲 出 豫 算 親 模

一 般 現 況

□ 沿 草

- '92. 2. 6. : 保健環境研究院 設置 承認
- '92. 5. 1. : 開院(大田直轄市 保健環境研究院)

□ 位 置

- 大田直轄市 西區 炭坊洞 102-2番地
構造및 面積 : 콘크리트 슬라브 3 層
(建坪 302坪, 垡地 116坪)

□ 機構및 定.現員

- ◇ 機 構 : 1 課(2係), 2 部(7科)
總 務 課 : 總務係, 經理係
保健研究部 : 微生物科, 藥品分析科, 食品分析科
環境研究部 : 環境調查科, 大氣保全科, 水質保全科
廢棄物分析科

◇ 定 .現員

區 分	計	研 究 職		一 般 職			備 考
		研究官	研究士	行政5級	行政6級	行政7級以下	
定 員	49	10	25	1	2	11	
現 員	45	10	21	1	2	11	
缺 員	4		4				

□ '93 歲出豫算 規模

(單位：千圓)

內 容	豫 算 額	比 率(%)	備 考
計	3,233,165	100%	'92年 對比 45% 增
基 本 的 經 費	1,204,846	37.2%	
○ 人 件 費	679,708		
○ 官 署 運 營 費	428,238		
○ 基本的經常費	96,900		
事 業 費	2,028,319	62.8%	
○ 材 料 費	100,000		
○ 裝備購入費	1,097,970		
○ 敷地買入費	639,900		
○ 其 他	190,449		

'93 主要 業務 推進 計劃

- ☐ 檢 查 業 務 의 段 階 別 推 進
- ☐ 研 究 裝 備 및 機 資 材 確 保
- ☐ 研 究 員 檢 查 能 力 培 養
- ☐ 有 關 機 關 斗 協 助 體 制 構 築
- ☐ 保 健 所 檢 查 要 員 教 育 및 指 導
- ☐ EXPO關 聯 利 用 施 設 細 菌 檢 查
- ☐ 研 究 院 廳 舍 新 築 計 劃(構 想)
- ☐ 廳 舍 追 加 賃 借 計 劃
- ☐ 研 究 院 EXPO 狀 況 室 運 營

□ 檢査業務의 段階別 推進

日常生活에 不便을 주는 業務 優先 推進, 市民 便宜를 圖謀하고
有關機關과 協助體制를 強化하여 正常業務를 早速히 推進코자함

◇ 推進方針

- 市民生活과 直結된 業務 優先 推進및 行政需要에 迅速한 對處
- 有關機關과 協助體制를 構築, 未治한 部分 補完的 解決

◇ 推進計劃

- 段階別 施行

段階別	推進時期	檢 査 項 目	備 考
1 段階	1992年 10月	法定傳染病, 食中毒, 騒音, 振動, 煤煙, 沐浴湯(源水, 浴槽水)廢水 檢査	現 在 實施中
2 段階	1993年 2月	에이즈, 惡臭, 飲用水, 먼지 檢査	
3 段階	1993年 4月	食品分析, 食品規格, 醫藥品, 重金屬 河川水 檢査	

- '93 檢査計劃

分 野 別	件 數	備 考
計	46,900	
保 健 研 究	41,700	
環 境 研 究	5,200	

□ 研究裝備 및 機資材 確保

最新 研究裝備 및 試驗機資材 購入으로 檢査能力을 培養하고 迅速한 業務處理로 信賴받는 公職者像 定立과 奉仕行政에 寄與함

◇ 推進方針

- 公認된 誠驗器機 및 他研究機關과 比較檢討
- 最新 裝備 確保
- 市民生活과 直結된 業務處理에 必要한 裝備 優先 購入

◇ 推進計劃

- 裝備確保
 - 總所要裝備：遠心分離機等 379點(2,874,120千圓)
 - 既 確 保：遠心分離機等 244點(1,350,000千圓)
 - '93購入計劃(本豫算)：폴라리그래피等 56點(1,181,920千圓)
- 試藥 및 硝子購入
 - 總 所 要 量：아세톤等 1,967種 (200,000千圓)
 - 既 確 保：아세톤等 1,032種 (80,303千圓)
 - '93 購入計劃：피 펫等 800種 (100,000千圓)
 - ※ 不足量은 '93追更豫算에 反映 購入 豫定
- 購入方法
 - 裝備: 調達購買를 原則으로 하고 必要時 自體購入 並行
 - 試藥(硝子): 入札 및 隨意契約 並行

□ 研究員 檢査能力 培養

- 參考 圖書 購入：100券 (3,000千圓)
- 中央學術세미나 參席：10回 30名
- 專門研究機關 教育 및 業務 研鑽：21回 50명
 - 中央 [國立保健院 業務 研鑽：7回 15名
環境公務員教育院 教育：8回 20名
 - 地方 [忠南保健環境研究院：4回 10名
水 質 檢 査 所：2回 5名
- 海外 技術 研修：4回 11名(生産業體와 協議 推進)

□ 有關機關과 協助體制 構築

- 業務協議 및 情報交換

大田地方環境廳, 忠南保健環境研究院
各大學校 附設 研究所 (3個 大學)
私設研究所(매달研究所)
其他 關聯되는 市民團體(4個 團體)
水質檢査所, 區廳(環境保護課), 保健所

□ 保健所 検査要員教育및 指導

◇ 目 的

官内 保健所 検査要員の 検査能力을 向上시켜 集團 食中毒과 傳染病 發生時 迅速히 對處하고 豫防活動을 強化하여 市民保健 向上에 寄與

◇ 推進計劃

- 對 象：5個區廳 保健所 検査要員
- 時 期：'93. 2月 ～ 4月 (1週間 早期 實施)
- 內 容：理論및 實習教育, 精度管理, 保健所 指導點檢
- 結果分析：評價後 未洽한 部分은 補完될때까지 持讀的 實施

□ EXPO關聯 利用施設 細菌検査

◇ 目 的

EXPO'93期間中 觀覽客 및 運營要員の 레지오넬라에 의한 集團 呼吸器 疾患을 早期에 發見하여 疾病없는 行事 進行 支援

◇ 推進計劃

- 對 象：展示館및 儒城地域 호텔等 30餘個所
- 期 間：'93. 6月 ～ 10月 (에어콘稼動 期間中 月 2回 實施)
- 內 容：集團呼吸器 患者 發生 豫見時 防疫對策本部에 通報

□ 研究院 廳舍 新築計劃(構想)

- 位 置: 儒城區 九城洞21-1番地(大田地方環境廳 옆)
- 敷 地 面 積: 16,676㎡(5,044坪)
- 敷地買入金額: 664,340千 원

◇ 新築計劃面積 - 4,628.1㎡(1,400坪)

- 本 館: 4,177.3㎡(1,264坪)
- 附帶施設: 450.8㎡(136坪)

◇ 推進計劃

- 設計用役(基本, 實施): '93 第 1 回 追更 反映
所 要 額: 87,360千 원(建築費의 2.08%)
設計士 選定方法: 公開競爭 入札
- 廳舍 新築: '94當初豫算에 計上
所 要 額: 4,200,000千 원(坪當 3,000千 원)
建築期間: '94. 3 ~ '95. 3.(1年間)

※ 廳舍新築이 時急한 事由

- 廳舍가 狹小 實驗室 裝備 設置 및 運營 困難
最小 所要面積: 1,000坪(700餘坪 不足)
- 實驗室 惡臭 및 廢水 發生으로 民願發生 豫想
- 大路邊에 位置 大型車輛 運行時 振動으로 分析機器 誤差 發生
- 駐車空間 全無(民願人 利用不便)
- 建物이 낡아 雨天時 漏電으로 인한 火災 危險 常存

□ 廳舍 追加 賃借 計劃

現廳舍 現況

- 位 置 : 西區 炭坊洞102-2番地 (龍汶4街)
 - 建 坪: 998.2㎡(302坪)
 - 地 坪: 383㎡ (116坪)
- 賃借期間 : 91. 3. 25 ~ 93. 3. 24

◇ 位 置: 西區 炭坊洞102-1 番地 (現廳舍 옆)

建物主: 安東權씨 탄옹공중과 중중

◇ 追加賃借面積: 195坪(2層) .

◇ 賃借料(豫想): 390,000千 원(坪當 2,000千 원 豫定)

◇ 賃借期間: '93. 6. ~ '95. 6. (2年間)

◇ 措置事項

- 管理計劃 承認節次 確行
- 賃借料 豫算 計上('93 第 1 回 追更)

※ 必 要 性

- 現廳舍가 302坪으로 最小 所要面積에 700餘坪이 不足하여
實驗室 裝備設置 및 運營 困難
- 新廳舍 新築時까지 다른 對策 講究 困難

□ 研究院 EXPO狀況室 運營

食品 및 飲用水의 安全 供給으로 各種 疾病을 豫防하고 快適한 環境造成을 통하여 國內外 來訪客에 대한 이미지를 浮刻시키는 등 成功的인 EXPO行事を 蹉跌없이 推進코자 함.

◇ 推進方針

- 自體 狀況室 運營으로 迅速한 對應體系 確立
- 有關機關과의 協助로 共同 對處(重要的 懸案事項)
- 非常勤務 體系確立과 機動性 確保

◇ 推進計劃

- 研究院 EXPO 狀況室 設置運營
設置其間：'93. 4. 1. ~ 11. 30. (9個月)
非常勤務
 - 實施期間中 1組 4人 2個組(狀況에 따라 人員調整)
 - 全幹部 呼出信號機 携帶(非常連結 體系 維持)
- 運營內容
EXPO關聯 諸般業務 總括推進
 - 自體 事業構想 및 結果 分析
 - 檢査 및 報告(本廳)

- 有關機關과 共同 對應方案 講究(豫見되는 問題點)
(大田地方環境廳, 忠南保健環境研究院, 水質檢査所 및 各
大學附設研究所)

－ 라바댐 水質汚染 調査 .

- 甲川 上流地域의 地點別 生活下水 및 工場廢水
- 水質混濁 要因 調査(有機汚染物質, 營養鹽類)
- ※ 調査結果 本廳(環境保護課)에 報告 對策 講究

隘路吳 建議 事項

□ 隘 路 및 建 議 事 項

◇ 隘 路

- 廳舍狹小로 各種 裝備 設置 및 運用 困難
- 正常業務對備 研究人力 不足
 - ⇒ 他研究院 對比 65% 水準
 - ※ 他市道 平均 研究人力 53.8名 (우리研究院 35名)
- 研究裝備 調達購入 節次가 複雜하고 納品期間이 長期間 所要 되어 業務推進에 支障 招來
 - 節次：購入要求(調達廳) ⇒ 入札(1,2次) ⇒ 注文 ⇒ 船積
 - ⇒ 稅關 ⇒ 中央補給創 到着 ⇒ 需要機關
 - 納品期間：6月 ~ 1年 以上 所要

◇ 建 議

- 廳舍新築費 豫算計上 要望
 - 設計費： 87,360千원 ('93 第1回 追更)
 - 新築費：4,200,000千원 ('94 當初豫算)
- 現廳舍 狹小로 追加賃借料 計上 ('93 第1回 追更)
 - 追加賃借面積：195坪
 - 所 要 額：390,000千원
- 研究補助入力 人件費 所要額 豫算計上 ('93 第1回 追更)
 - 追加所要人員：3名
 - 所要額：15,000千원 (20,000원×25일×10개월×3인)
 - ※ 資格：保健環境分野 2級 以上 資格所持者